

3/7

大学改革、学園民主化斗争勝利、政府・独占の反動的大学再編粉碎

32 全関西学生総決起に結集せよ

2:00 PM.
京大本部

学園の民主的改革をめざして闘っているすべての学友諸君！

現在、政府・独占は大学の民主的改革斗争に対し、大学の反動的再編成で応えようとしている。3月上旬の中教審答申は、大学院大学構想、副学長制、学生自治会の解散権等、反動的かつ全面的な大学再編成を狙ったものとして予定されている。

62年の「大管法斗争」の勝利以来、政府・独占は大学への直接的介入ではなしに、予算の締めつけ等を利用した産学共同路線の押しつけ、なしくずしの大学自治への攻撃を行なってきた。それに対し、いわゆる「教授会自治」国大協路線は非力であり、産学共同「独占の大学財政支配を許して来た。しかし、現在の大学自治への攻撃は、東大・日大、関西においては関学・立命大等にみられるように、機動隊の直接介入（導入、侵入）、常駐化であり、一方で「大学閉鎖法」「教育機能停止特別措置法」をテコとした反動的再編直接支配、独占の要請する「大学」の「確立」をめざすという新たな攻撃である。

この攻撃に対し、「教授会自治」では全く無力であり、全大学人の闘う連帯の創出と、その力こそが政府・独占の反動的大学再編をはねかえすのである。

現在、我々は「全大学人の闘う連帯の場合」実質上の最高決定機能をもつ全学協議会の確立を中心に、徹底的民主的改革をめざし闘っている。

学友諸君、いま必要なことは、政府・独占の大学の反動的再編と対決し、徹底的民主的改革をかちとることである。

しかし、現在の学園斗争の中で誤った方向に歩んでいる諸君が存在する。それは「入試粉碎—大学解体」をかかげている諸君の主張である。教授会を解体し、永続的な（従って革命まで）学園占拠「斗争」を行うと主張する。

彼らの決定的誤りは何か。

それは、現在の大学の持つ権力からの相対的自立（大学人の闘いによってかちとった）をまったく見ずに、権力—大学—教授会という図式を組みたて、現在の大学のすべてを否定するところにある。

「入試粉碎」を彼らは大学入試阻止—大学機能停止—社会的分業体制の分断—国家の斗争介入—国家権力の本質のバクロ—国家権力打倒の必要性の認識という図式で位置づける。（社会学同）

この主張は、すべての斗争を国家権力の本質のバクロとしてしか位置づけられず、権力の策動をいかに封じめるのかという視点をまったく欠落させている。従って大学の民主的改革斗争を「反革命」と規定し、「全学封鎖—入試粉碎—大学解体」をかかげ「闘う」彼らトロツキストの客観的役割は権力の大学自治への攻撃—機動隊介入、大学の反動的再編に全く手をかすものである。我々はおかしく主張をきっぱりと拒否し、大衆的決起で「入試粉碎—大学解体」路線を葬り去るであろう。

また、民青諸君は、トロツキスト批判をあいまいな改良性をだしつつ行っている。いま徹底的改革を要求されている時、神戸大学や大阪大学で行ったように、ストライキに反対し、「おしゃべり全学協」を要求することは、全くの日和見主義である。

学友諸君、3・2全関西学生総決起集会の意義は、まず第一に、政府・独占の反動的大学支配を粉碎するためであり、第二に、学園の民主的改革をめざし闘う勢力の結集であり、第三に、翌日に入試をひかえ、「入試粉碎—大学解体」路線を粉碎するためである。

学友諸君、「入試粉碎—大学解体路線」を断固拒否し、大学の徹底的民主的改革斗争に前進しよう。

3・2全関西学生総決起集会に結集しよう。

● 名称 大学民主的改革斗争勝利、反動的大学再編粉碎、「入試阻止—大学解体」路線粉碎、全関西学生総決起集会。

● 日時 3月2日午後2時。

● 場所 京大本部講内、終了後デモ。

《スローガン》

❖ 政府・独占の反動的大学再編成を許すな

❖ 中教審3月答申粉碎

❖ 大学院大学構想・副学長制粉碎

❖ 機動隊の侵入・常駐化反対

❖ 大学の徹底的民主的改革をおしすすめ、

❖ 全大学人の闘う連帯で大学自治を守りぬ

❖ 「入試粉碎—大学解体」路線を、圧倒的大

❖ 衆的決起で粉碎しよう

❖ 京大—阪大—市大—神大—学大—近大

❖ 民主的改革斗争に断固勝利しよう

同学生民